

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical treatment of splenic metastases in patients with melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-16	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Coll Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	197	
	号	1	
	ページ	38-43	
	ISSN ナンバー	1072-7515 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2003	
	著者情報		氏名
筆頭著者		de Wilt JH,	Sydney Melanoma Unit and The Melanoma and Skin Cancer Research Institute, Royal Prince Alfred Hospital, New South Wales, Australia.
その他著者 1		McCarthy WH,	
その他著者 2		Thompson JF.	
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	脾臓転移切除の予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	脾臓転移の手術を行った群 15 例、緩和的治療を行った対照群 98 例 痛みを伴う 7 例全例で手術により症状が改善された。 手術を行った患者全員の生存期間中央値は 11 月、単発の転移を切除した患者の生存期間中央値は 23 月、手術をしない緩和群の生存期間中央値は 4 月だった
	結論	脾臓摘出は症状のある脾臓転移患者には良好な緩和的効果をもたらす。転移が単発の場合は脾臓摘出によって長い無病生存期間が得られる。
	備考	
レビューワーコメント		宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV ） 記述の少ない脾臓に関する貴重なデータである。